

# 秋ランナー苗を利用した イチゴ‘まりひめ’の炭疽病対策

[分類] 普及

[所属名] 農業試験場 栽培部・環境部

[研究期間]

令和5～7年度

[背景とねらい]

‘まりひめ’は、和歌山県のイチゴ栽培における主力品種ですが、炭疽病に弱いという欠点があります。イチゴの育苗期間は、炭疽病の発病好適時期と重なり、親株や子株の枯死による苗不足が問題となっています。そこで、炭疽病の感染リスクが低いと考えられる本ぽ定植後の株からランナー苗を採り、翌年の親株とする秋ランナー育苗技術の確立に取り組みました。

[研究の成果]

1. 秋ランナー採苗には、葉数3枚以上で発根した子株が適します（図1、2）。
2. ランナー（基部側）の切り離し部分を水挿しすると、1～2週間で活着します（図3、4）。
3. 秋ランナーの採苗時期にあたる11月以降の潜在感染株\*上の炭疽病菌の分生子形成量は、‘まりひめ’が発病する可能性がある分生子濃度100個/mlに至らないほど十分に少なく（図5）、秋ランナー採苗による感染リスクは低いと考えられます。
4. 育苗期の防除は、散布間隔7日以内の予防剤によるローテーション散布とします（図6）。

\*：秋季以降に感染後、気温の低下により発病しなかった株

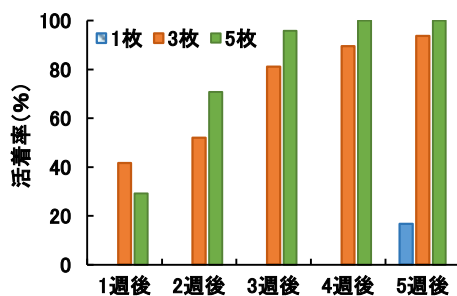


図1 子株の展開葉数が活着率に及ぼす影響

令和5年12月14日に挿し苗し、無加温ハウス（サイド開放）で管理。  
活着までPOフィルムをべたがけ。



図2 採苗適期の子株

左：葉数3枚以上 右：発根している子株

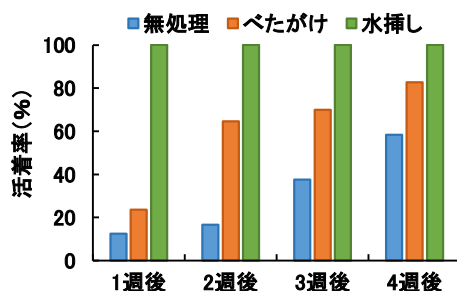


図3 挿し苗方法が活着率に及ぼす影響

令和5年12月7日に展開葉数3枚の子株を挿し苗し、無加温ハウス（サイド開放）で管理。べたがけ：ポットに挿し苗後、POフィルムを被覆。



図4 水挿しによる挿し苗

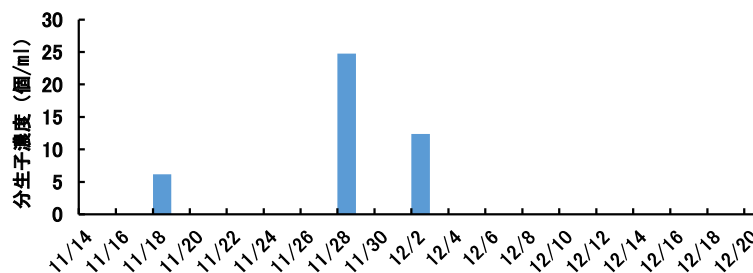


図5 潜在感染株への頭上かん水による飛散水中の炭疽病菌分生子濃度の推移

試験方法：潜在感染株を定植したプランターを高さ約1mのベッドに設置した。ベッドの下にはかん水により飛散した水が1箇所に集まるようビニルを張り、その下に桶を設置し、飛散水を回収した。この飛散水100mlを選択培地に塗布し、25℃で1週間培養した後、出現した炭疽病菌のコロニーを計数した。

施設内の温度管理：無加温、試験期間中の平均気温 13.1℃、最高気温 32.1℃、最低温度 1.3℃

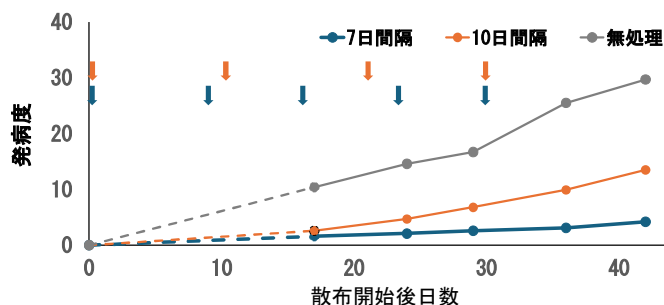


図6 体系防除における散布間隔の違いが炭疽病の発病に及ぼす影響

薬剤散布：↓ 7日間隔 ↓ 10日間隔

アントラコール→ベルコート→ジマンダイセン→オーソサイドの順でローテーション散布

試験方法：潜在感染株の周辺に薬剤処理もしくは無処理のポット苗を配置し、頭上かん水により分生子を飛散させて接種した。発病を以下の程度別に調査し、発病度を算出した。

発病程度 0：発病を認めない 1：小葉に病斑が認められる 2：葉柄に病斑が認められる  
4：新葉に萎れが認められる 6：枯死

発病度 =  $\left\{ \sum (\text{発病指数別株数} \times \text{発病指数}) \times 100 \right\} / (\text{総調査株数} \times 6)$

### [成果のポイントと活用]

1. 本ぼ定植後の株から発生した、葉数3枚以上の発根した子株を水挿し法で管理すると、炭疽病の感染リスクが低い親株を育成できます。
2. 10月中に発生したランナーは除去し、11月以降に発生したランナーを使用しますが、時期が早い（気温が高い）方が早く活着します。
3. 採苗後は炭疽病の基本的対策として、ベンチアップ、雨除け、底面給水または点滴かん水で管理してください。
4. 前年秋に潜在感染した株は、翌年の4月下旬から枯死し始めました（データ未掲載）。このことから、育苗期の防除は4月上中旬を目安に開始してください。また、薬剤の散布間隔が7日以上になると、防除効果が低下します。
5. ストロビルリン系（アミスター20フロアブル等）やベンゾイミダゾール系（ベンレート水和剤等）系薬剤は耐性菌の発生を確認しています（データ未掲載）ので、使用は極力控えてください。
6. 「秋ランナー苗を利用したイチゴ‘まりひめ’の炭疽病対策マニュアル」を農業試験場ホームページに掲載しています。

([https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070100/070109/gaiyou/001/nougyoushikenjyou/shikenkenkyuuseika/shikenkenkyuuseika\\_d/fil/ichigo\\_tansobyoy.pdf](https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070100/070109/gaiyou/001/nougyoushikenjyou/shikenkenkyuuseika/shikenkenkyuuseika_d/fil/ichigo_tansobyoy.pdf))

### [その他]

予算区分：県単（農林水産業競争力アップ技術開発事業）問い合わせ先 TEL:0736-64-2300